

松山市消防局殿

所在地：〒790-0811 愛媛県松山市本町6-6-1 tel. (089) 926-9200
ホームページ：<http://www.city.matsuyama.ehime.jp/sbsoumu/kyoku/>



通信指令課
吉岡 良一様

松山市は、人口約48万人（約20万世帯）愛媛県中央に位置し、温暖な瀬戸内海気候と人々の穏和な気質に恵まれた四国最大の都市です。

市内には、中心部の消防本部庁舎を含め4本署、4支署の計8箇所の消防署があります。職員数約400人で、総務課・予防課・警防課・防災対策課・通信指令課・中央消防署・東消防署・南消防署・西消防署・防災センターを構成。昭和23年の自治体消防発足以来55年の歴史があり、施設・装備・人員等を充実強化しつつ近代消防に成長、24時間365日市民の安心を支えており、「安全で安心して暮らせるまちづくり」を目指しております。

中央消防署と同じ庁舎の中に通信指令室があり、そこには通信指令課のメンバー21名が7人の三交代勤務により、24時間常に119番対応しています。通信指令課は市民の生活を守るため、119番緊急通報受付に始まり、火災と救急の指令が主業務です。市民の生活を守るため、救急車や消防車を一刻でも早く現場へ到着させるのと、常に緊急時対応体制整備が使命です。



**新消防通信指令管制システム
において、プロジェクタを使用した
50型8面（100型2面）
のマルチ画面が活躍。**

松山市消防局殿は、今年の4月に新消防通信指令管制システムを導入。全国初の弱者の支援システムとして、言葉の不自由な方のためのWEBメール119番通報システムを導入しているのが一番の特長です。本システムは、50型×8面（100型×2面）のマルチ画面の大画面高精細液晶プロジェクタを初め、19台の最新

鋭コンピュータ、現代版火の見やぐらともいうべき2台の高性能高所カメラ、インターネットWeb119番対応電話交換設備、車輛位置常時管理GPSカーロケーションシステム、携帯電話画像伝送システム、消防無線などを駆使。救急車輛や消防車輛の出動指令、場所や消防設備などの検索特定、救出活動を安全に効率よく支援することができるようになりました。119番受付、自動出動指令、地図情報、消防支援情報、医療情報、画像情報、気象情報などをコンピュータによってサポート。消防無線などで通信指令室と現場との相互疎通をし、大画面表示装置により情報の共有化を図り、最終的に通信指令課員によって、救急や火災の早期解決をサポートしております。

今回の新システムにNECのプロジェクタGT5000×8台を導入、大画面表示で「ビジュアル情報の共有化」を図ることができるようになりました。

具体的には映像情報を、50型×8面に表示したり、100型×2面に拡大表示したり、画面を自由に切り替えることができ、災害情報（状況）の共有化が可能となっております。

新消防通信指令管制システムにおけるプロジェクタシステムの活用法について、お聞かせ願います。

吉岡様 まず、ビジュアル情報を自由に利用や活用が出来るようになりましたね。

8面（台）の大画面高精細プロジェクタ

（GT5000）には、19台のコンピュータ画像や、2台の高性能高所カメラなどの映像が、8面どの位置にでも自由に表示可能。常に状況を把握して、画面上の変化を発見した場合、すぐに対応。消防局庁舎屋上と、20キロ南方の行道山山頂に設置した高所カメラ映像を、常時リアルタイム監視表示。デジタルカメラで撮影した現場映像を、携帯電話画像伝送システムを介して、リアルタイム拡大表示可能、といったことが出来ます。

また火災発生時ですが、119番火災発生を受信すると、火災発生場所が画面の地図上にピンポイントで特定され、大画面表示に切り替える事が出来ます。画面表示は自由に設定でき、8面個々にも2面で拡大表示も可能。表示画像はワンタッチ切り替えになっており、高所カメラ2ヶ所の切り替え表示、地図情報画像の大映し、GPSカーロケーション情報表示、車輛出勤情報（履歴）表示が可能。地図画像の縮尺拡大表示も移動も自由に出来ます。情報の共有化例として、火災発生の場合、地図情報画面では災害点に赤い点（マーク）を表示。この地図情報を、大画面表示すると共にそのまま消防車輛側ナビゲーションシステムにGPS情報送信することにより、消防車や救急車を現場まで誘導できます。この結果、現場到着までの時間を短縮することが可能になりました。旧システムは、高所カメラの小型画像表示だけでしたので格段の進歩です。その他に以下のような活用例があります。

- ・近年増加の携帯電話による通報を、受付した情報が自動的に瞬時に大画面表示。
- ・気象情報をリアルタイムで表示。消防局（署）の屋上、気象観測装置からデータで、例えば今、「雷注意報が松山市全域に出ています」…とか。
- ・動態表示が可能。松山市消防局全署の消防車両、救急車両の状況表示で、赤は出勤中・緑は普通の走行中。
- ・携帯電話画像伝送システムとの共用は、デジカメで撮った現場画像を、携帯電話の電波でリアルタイム伝送し、指令室内の大画面に拡大表示するもの。台風シーズン等で、利用頻度が見込まれる。例えば山間部で発生した崖崩れ現場への出勤車両から、デジカメ撮影画像をリアルタイム伝送し、この通信指令室で大画面表示。隣接した防災センター内災害対策本部の70型大画面でも、映像信号を分配して同時表示可能。



新消防通信指令管制システムにプロジェクタをご導入頂いての感想はいかかでしょうか？

吉岡様 今まで、現場の映像等をリアルタイムで見ることは難しいことでした。新システムで導入した大画面高精細プロジェクタ（GT5000）は、リアルタイム表示を可能にし、ビジュアル情報の共有化を実現、実際、離れた所でデジタルカメラ撮影した画像を、携帯電話の電波で伝送、受信映像の拡大表示が可能となりました。ビジュアル情報の共有化は、消防局での的確な災害状況把握、早期対応を可能としました。大画面高精細プロジェクタ（GT5000）は、24時間運用しており、リアルで様々な画像情報を映し、切り替えて監視するのに活用しております。

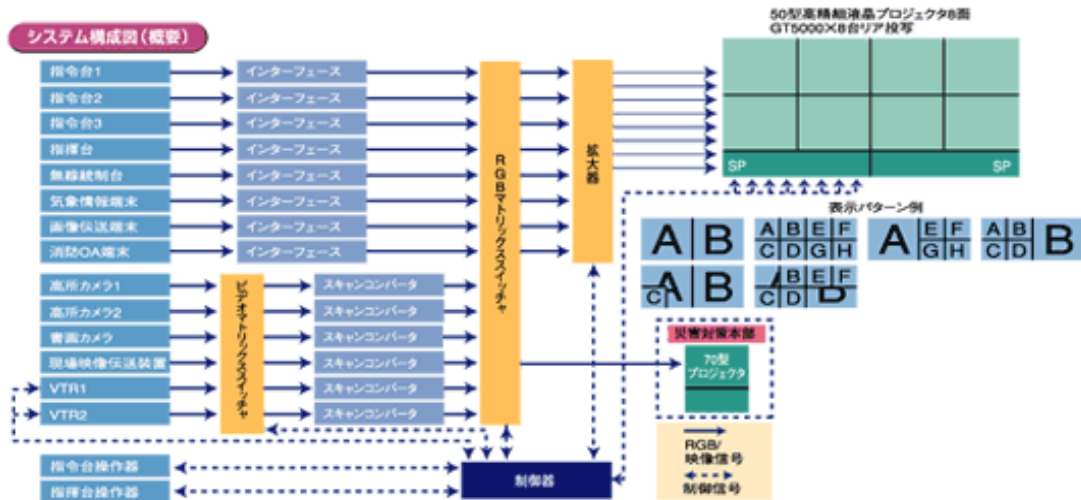
今後の展望・抱負についてお聞かせ願います。

吉岡様 消防通信指令室は映像情報が重要な部署です。119番緊急通報もデータ化が進み、携帯電話もカメラ付きで画素数も多くデジタルカメラに近い画質の時代となっています。これからは119番緊急通報もデータ通信と画像の時代になっていきます。松山市消防局の通信指令システム全体がNEC製であり、大画面高精細液晶プロジェクタの導入については、監視用途の導入が多いといった実績から最新型のNECのプロジェクタ（GT5000）を導入しました。実際運用してみて、明るく、よく見えるし、マルチ対応可能であり、長時間連続運転も可能。システムの操作も容易な上に、画像切り替えが瞬時に出来るといったところが役立っています。ますます、今後プロジェクタの有効活用を行っていきたいと思います。これからの映像機器への期待として、多面構成で100～300型、薄型省スペース、高解像度、さらに明るく鮮明な画像を期待しております。

本日はどうもありがとうございました。



松山市消防局殿に導入いただいているGT5000



拡大図はこちら

(PDF 37kb)